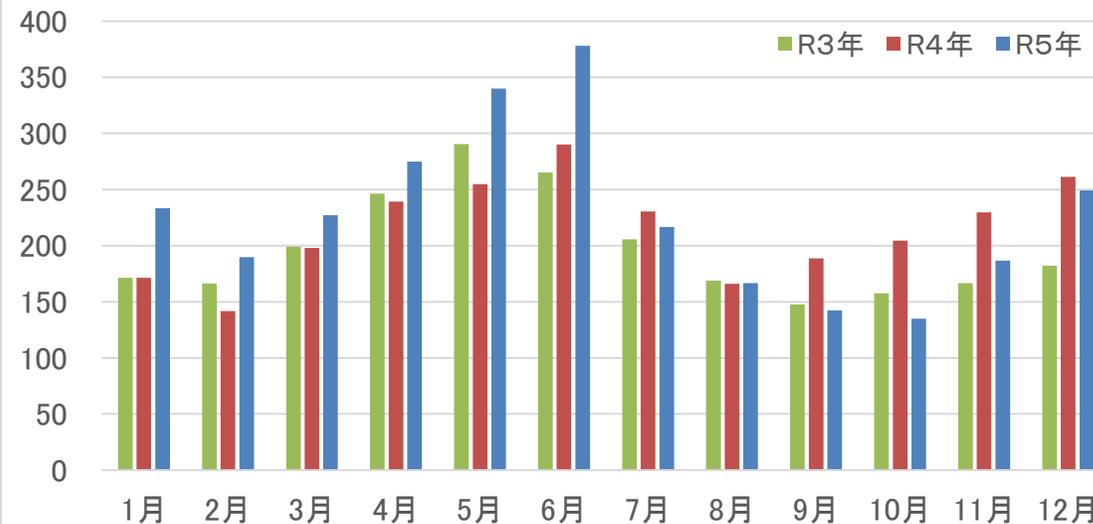


# ミニトマトの動向

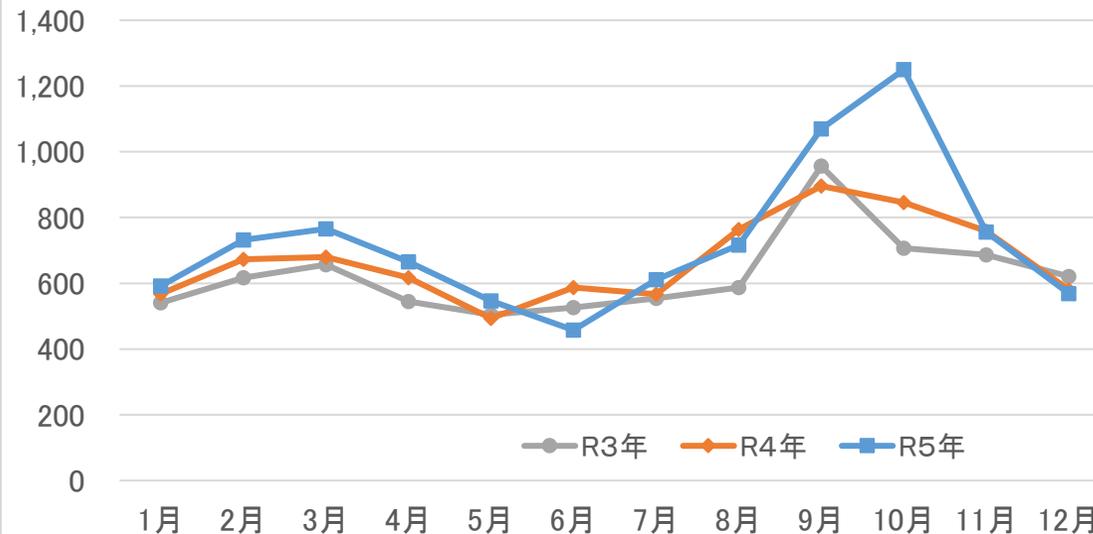
〇年により差があるものの、5月から6月にかけて入荷量が多くなり、卸売価格が下落する傾向が見られる。

(トン) 入荷量の推移



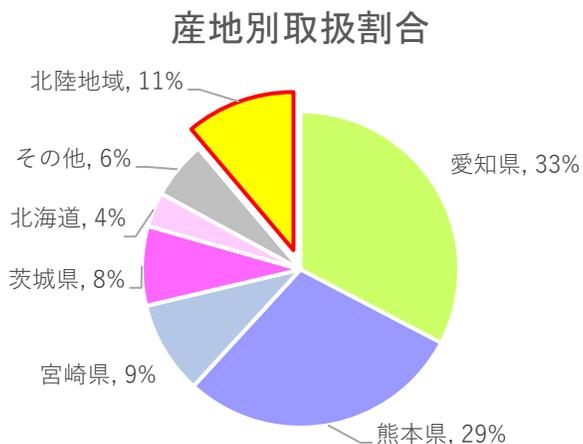
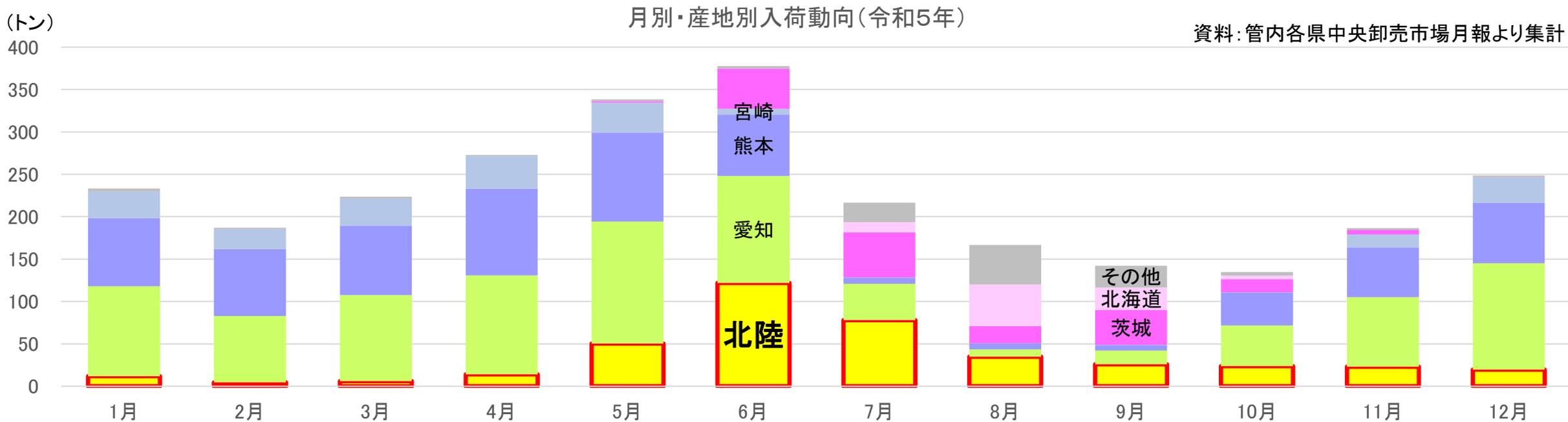
全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
74千トン	2.2千トン	11%	89%

(円/kg) 卸売価格の推移



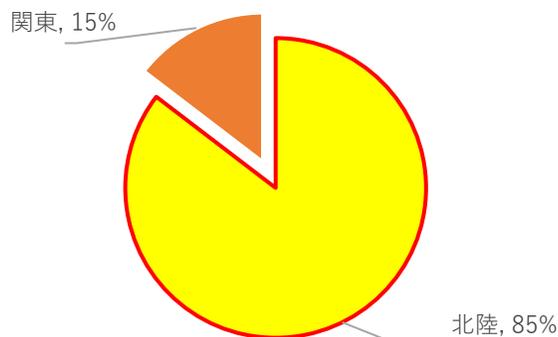
○入荷量は、愛知産が33%、次いで熊本産が29%を占め、その2県で約6割を占めている。北陸地域からのミニトマトの供給比率は11%。

○新潟産は8割以上、福井産は9割以上が北陸地域に出荷されている。



(参考)主要消費地域への出荷量

新潟県 (234t)



資料:令和5年青果物卸売市場調査報告

福井県 (51t)

